

参加費
無料

連続企画

地域のための気候変動対策・自然再興とは？

エネルギー貧困とは何か？

誰ひとり取り残さない脱炭素社会移行に向けて

オンライン

日時 2024.6.28(金) 14:00～15:30

対象 脱炭素・気候変動対策、公正な移行、
貧困対策等に関心のある方 どなたでも

定員 250名（要申込）



申込フォーム

講師 上園 昌武さん
(北海学園大学経済学部 教授)



「エネルギー（燃料）貧困（Energy/Fuel Poverty）」という言葉をご存知でしょうか？日本ではまだ社会課題としてあまり注目されていませんが、安全なエネルギーを十分に得られない途上国だけの問題ではなく、先進国においても電気料金やガソリン・灯油代などが家計を圧迫し、特に収入の少ない世帯の生活の質に影響を与えています。所得に占めるエネルギー支出の割合が10%を上回ることがひとつの指標とされますが、2013年時点で冬季の日本の世帯の15%がこれに相当するというデータもあり、近年のエネルギー価格高騰を踏まえると北海道のような寒冷地ではその割合はさらに高まっていることと推察されます。

脱炭素社会への移行を「誰ひとり取り残さない」で進めていくために、私たちはこの問題に向き合っていかなければなりません。今回はこの問題に早くから取り組んできた欧州諸国の状況を含めて専門家から情報提供いただき、対応のあり方を考えていきたいと思っております。

問い合わせ

環境省北海道環境パートナーシップオフィス（EPO北海道）

担当：福田・久保田 ☎ 011-596-0921

✉ epoh-webadmin@epohok.jp

主催

環境省北海道環境パートナーシップオフィス（EPO北海道）

一般社団法人北海道総合研究調査会